

土地改良事業計画書

1. 目 的

当地区は、三豊市仁尾町仁尾の西部に位置し、2.2haの(堤体・洪水吐)をかんがいする主要なため池である。築造後、長年年数を経過し、堤体裏法面の土羽が老朽により崩壊する危険性があるため改良整備が必要である。本事業を早急に実施することにより、堤体決壊被害を未然に防止する。

2. 地域の所在及び現況

(1) 所 在 三豊市仁尾町仁尾地内

(2) 地 積 受益面積 2.2 ha 関係戸数 25 戸

(3) 現 況 当地区は三豊市仁尾町仁尾の西部に位置し、2.2haの(堤体・洪水吐)をかんがいする主要なため池である。築造後、長年年数を経過し、堤体裏法面の土羽が老朽により崩壊する危険性があるため改良整備が必要である。

3. 一般計画

- ・ 本地区は築造後、長年経過しており、ため池改良が必要な状況にある。未整備の場合は、下流にある農地等に被害を及ぼすことが予想されることから、本ため池(堤体工(腰積ブロック))を整備し、防災に備えるとともに農業用水の安定確保に努める。
- ・ ため池と(堤体・洪水吐)に囲まれた中山間地帯であることから、周辺の自然環境に配慮した

4. 主要工事計画

施工場所： 三豊市仁尾町仁尾 甲1020 ため池番号： 372080015
貯水量： 7,000 m³

(1) 堤体工延長 104 m 腰積みブロック

(2) 取水施設工 1 ヶ所

(3) 洪水吐工 - ヶ所

(4) 浚 渫 工 V = m³

5. 付帯工事計画

該当なし

6. 工事の着工及び完了予定期間

着 工 令和8年9月30日

完 了 令和9年3月15日

7. 環境との調和への配慮

本地区における環境との調和への配慮は、自然の生態系を保全しつつ、農地の持つ多面的機能や自然環境を維持するよう整備を進める。

8. 本施設の維持管理

本施設の維持管理については、地元水利組合において管理する。

9. 事業費の総額及び内容

(1) 事業に要する費用

区 分	金 額 (千円)	備 考
工 事 費	32,000	
用地買収補償費		
測 量 試 験 費	3,000	
工 事 雑 費	-	
事 務 費	-	
計	35,000	10a当りの事業費 1,590,909 円

(2) 資金計画

区 分	金 額 (千円)	備 考
補助金	国 補 助 金	-
	県 補 助 金	21,000
	市 補 助 金	12,250 事業費の 35%
	小 計	33,250
地元負担金	受益者負担金	1,750
	借 入 金	- 農林漁業資金 利率 - 償還期間 - 賦課基準 -
	小 計	1,750
	計	35,000

10. 事業効果

区 分	金 額 (千円)	n : 80 総合耐用年数
防 災 効 果	3,157	T : 1 事業着手から効果発生年数
作 物 生 産	-	i : 0.04 割引率 $\frac{n}{(1+i)^n} - 1$
年 総 増 加 額 計	3,157	資本還元率 : $i(1+i)^n / ((1+i)^n - 1)$
廃 用 損 失 額	-	建設利息率 : $0.05 \times 0.4 \times 0.065 \times T$
		農家負担率 : 0.05

※貯水量1m³当り防災効果額は 451 円/m³ × 貯水量 7,000 m³
 妥当投資額 = 年総増加額計 ÷ [資本還元率 × (1+建設利息率)] - 廃用損失額

$$= 3,157 \div [0.0418 \times (1 + 0.0013)] - 75,428$$

$$= 75,428$$

 投資効率 = 妥当投資額 ÷ 総事業費 = 75,428 ÷ 35,000 = 2
 ※投資効率は基準値は1.00以上とする。

11. 計画図

(1) 位置図

別紙のとおり

(2) 平面図

別紙のとおり

(3) 標準断面図

別紙のとおり

事業主体	三豊市仁尾町土地改良区	
地区名	天王池	地区
事業費	35,000	千円
工種	ため池	堤体(腰積ブロック)
工事延長	104	m
受益戸数	25	戸
受益面積	2.2	ha
貯水量	7,000	m3

	作 付 状 況 及 び 計 画	
	現 況	計 画
表	-	
裏	-	-
チェツク欄	-	-
	-	-

← 選択

[illegible]

工種	台帳番号	施設名	溜池貯水量 ① m3	年効果額 ② 円/m3	総効果額 ①×② 円
たの池(堰体(堰根ブロック))	372080015	天王池	7,000	451	3,157,000
計					3,157,000

位置図



令和8年度

天王池地区（ため池） 1箇所（裏法面L=104m）

平面図

S=1:1000



